

上毛

男子距離フリー

鏑木

尾瀬

初V



男子距離フリー 技術で体力面の不安を克服した鏑木(尾瀬) 水上高原
スキーリゾートクロスカントリーコース

スキーの関東高校大会は30日、みなかみ町の水上高原スキーリゾートクロスカントリーコースでノルディックの男女距離フリー(男子10キロ、女子5キロ)が行われ、男子は鏑木光(尾瀬)が1年生ながら初優勝を飾った。女子は世川菜由(沼田)が初優勝を達成した。

関東高校スキー

片島村のスノーパーク尾瀬戸倉ではアルペンの男女大回転が行われ、女子は平井若菜(前橋商)が優勝した。男子の県勢最高は3位の根岸来夢(嬬恋)で、優勝は金子鏡哉(栃木・足利工大付)だった。(記録は24面)

冷静さ失わず ペース守る

鏑木は優勝だけを狙ってレースに臨んだ。6日に行われた県予選で1位だった以上、ここで他県の選手に負けるのはプライドが許さなかった。「思い通りに滑れませんでした」と優勝の手応えを語った。
しんしんと降り続く雪の中、先頭スタートから自分

後の最後尾で出発した。走順が最後なのは初めてだったが、「いつも追われる側なので、追う側で気持ちは乗りました」。

やわらかな新雪が表面を覆ったコースに他の選手が苦戦する中、冷静さを失わなかった。ストックを突くと埋まってしまつて役に立たなかったが「だったら脚だけで滑ればいい」と発想を転換し、自分のペースを守った。

尾瀬高に入ってから一貫して、滑りの技術を磨いてきた。中学までは感覚頼りに滑っていたが、1年生の体力では体の出来上がった上級生にかなわない。飯塚剛コーチの指導の下、シーズンオフはローラースキーに打ち込み、最小限の力で板を前に進める技術を体に

染み込ませた。
2位に15秒近い差をつけてのゴールにも、決して機心することは無い。「あと1秒は気持ちで勝てるように」。

強い選手相手だとびびってしまうので」と数日後に迫るインターハイに向けて、課題を見据えた。
(高野誠也)